

寺
ごよみ

四 月

一 日 お講・下村
九 日 雪ん子劇団新学期
只今団員募集中。
月謝無料。



一六日 お講・栗虫
二二日 慶びの春 花の初参り
今年は二二日。色とり
どりのチューリップが
十二万個。

寺 報 善 巧

発 行

〒938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山 4 9 7
白雪山 善 巧 寺
〒宇奈月 0765(65)0055

慶びの春特集



浦山善巧寺も12万個のチューリップで“花の万博”

第 14 回 花の誕生会

初参式・チューリップ、緑目
家族そろってお参り下さい。

四月二十二日 午前十時より

お母さんが赤ちゃんを抱いて
いる姿ほど尊いものはありませ
ん。西洋の絵の中でラファエロ
の「小椅子のマドンナ」と呼ば
れている聖母子像があります。此
処に描かれているお母さんと赤
ちゃんは、聖母というよりもむし
ろ街頭で見かける人間の親子で
あり、清純さを失わない人間味
に溢れています。これこそがこ
の絵のよさであり、又、人気の
原因でもあるのでしょう。

うっかり筆が逸れて西洋
の話になってしまいました
が、この清純な母子像が、
毎年善巧寺で行われる初参
式に、私の目の前で展開さ
れているのです。

お母さんが赤ちゃん、ほ
とけの子を抱いて本堂に坐
っていらつしやる。文字通
り、もみぢのような両手を
合わせている赤ちゃんの手
に、一人一人「よく、お参
りになりました」と声をかけて、
お珠数をかけて上げます。その
時の、赤ちゃんの澄んだ瞳の色。
側にいるお母さんの満足の表情。
私はこの表情に接したために、
毎年四月の善巧寺初参式を待ち
兼ねていなのです。

昭和六十一年五月二十一日、
龍谷門主、釋即如さまは、「初参
式についての消息」を出してい
らつしやいます。その一部を此

初 参 式 はつまいり

処にしるして見ましょう。

「ほとけの子の誕生は 家族の
方々の尊い仏縁であります。こ
のうへは 有縁の方々そろって
聞法に心がけられ お念佛にか
おる環境の中で 小さないのち
がすこやかに育つよう願ってや
みません」

時まさに春です。善巧寺では、
御承知のように毎年春、子供の
まつりを開きます。

慶びの春の花祭りです。お釈迦
様の幼い像に甘茶を濯い
で手を合せます。境内は、
何万というチューリップ
の赤・白・黄色で飾り立
てられます。善巧寺のお
寺の学校の子供たち、雪
ん子劇団の子供達で、境
内は悦びにみちています。
赤ちゃんを抱いたお母さ
んたち、子供のまつりの
世話をして下さる「夢を
語る会」「花の会」「白鶴
会」の方々。一日を、楽し
く明るく過ごすよう、皆んなが
協力して下さっています。

このようにして日本中で小
さいのちが誕生し、皆んなに守
られてすこやかに育つていま
す。これらが、つまるところ、尊
い仏縁であることを自覚し、是非
皆んなでこの御縁にあづかり
たいものです。

住職 雪山 俊之

産経新聞

心のページで若院の病床記新連載

新聞社には「しめ切り」というものがある。面白いのはその時のデスクの、さまざまな人間模様だ。

Aデスクは、しめ切りが近づくと、やたらとタバコをふかし出す。Bデスクの場合は、とにかく何回となくトイレにかけ込む。またCデスクは、しめ切りなんてあるのか？ なんていう顔をして、ノンビリと出先から送ってくる原稿を、本でも読みながら待っている。それを観察していると、デスクの人柄から、生き方までが伝わってくるようだ。

さて、このころのページ「あえてよかった！」——雪山和尚の元気の出る病床記——も、同じ

書き出すか、さし絵も、そう、さし絵も自前で、病院でもらった花や、思い出の花々を、ちょうど花博でもあるし描いてみようと思ったのだが、雪山さん、絵描けるの？」とか「大丈夫？」

しめ切り近し

ようにしめ切りがある。他人ごとでなく、この私のいまの状況はどうかというと、まずタイトルがバシッと決まらない。「あるガン患者の手記」とか、「ガンガン人生乗り越えて……」とか、ネクラ向きやら、ネア力向きやら、いろいろ浮かんでなかなか決まらない。文章も、どこから

なんていわれると、さあ、どうしよう、なんてあわててしまう。——とまあ、そんなわけでこのギョーカイの「しめ切り」というヤツは、なかなか手ごわいのなのだ。

さて、もう、おわかりだと思いが、著者がなぜこの「しめ切り」にこだわるのか。——それは、当然のことながら、マスコミの業界だけにしめ切りがあるのではなく、人生にも同じく「しめ切り」があるからだ。

ご承知の通り、人間の死亡率は、驚いたことに、いや驚かなくたって、一〇〇パーセントなのだ。それも刻一刻と「しめ切り」は迫っている。なのにだれもそれに気付こうとしない。いや、気付きたくない。だから、ごまかしごまかし生きている。

たまたま、私も、ガンという病気になるてそろそろ「しめ切り」いや、もうすぐ「しめ切り」ということに、抽象的でなく、具体的に気がついた。あわてて

タバコをスパスパやるか、トイレにかけ込むか……。ジタバタするなかつつけることもない。

それより、わが人生の「起承転結」。そろそろ、その「結」むすび「まとめ」に入ろう、と思う。たまたま、そこへ、この「特集面のデスク」から電話があった。彼も祖父を以前ガンでなくしたつらい経験の持ち主であることを私は知っている。よし、ネクラじゃなく、「元気の出る病床記」を、しばらくこの特集面で書かせてもらおう。

右の記事は産経新聞特集面婦人向けに書いた初稿です。その後、担当デスクと打ち合わせた結果、五十代前後の男性対象にという事で稿を改め「道」と題して、毎週末曜日の東京版に半年連載することになりました。乞購読。

好評絶賛

●著者のぬくもりが伝わってきます！

テープになりました
続『お茶の間説法』

1時間テープ5巻

著者の雪山隆弘・玲子夫婦の、ほのぼのの録音。奥様に、目の不自由な方に、お見舞いにも…元気の出る、おしゃれで、楽しい法話テープ

●セット領価

3000円

(送料込)

(障害者や施設の方には、無料で進呈いたします。)

◎お申し込みは

善巧寺 (雪山隆弘)

〒938 富山県宇奈月町浦山四九七
☎ 〇七六五—六五—〇〇五五

●既刊「お茶の間説法」好評発売中
●続々「お茶の間説法」は五月発売予定



木村梢さんと28年ぶりの再会 あえてよかつた！



ほんとうにご縁と
いうのは、不思議な
ものですね。二十八
年ぶりに、あのやさ
しい、すてきな、木
村梢さんにお会いで
きるなんて……

中のはんていうの、ひよつと
したら、むかしの利井さん、広
井さんじゃないかと……
利井は若院の名。そし
て広井隆とは、若院が十九歳で
劇団四季から、俳優の木村功さ
んに見込まれて、劇団「青俳」
へ入団した時に、木村さんがつ
けてくださった芸名だったんで
す。

五カ月間、東京渋谷の木村さ
ん宅へ居候をしまして、そ
の時、奥さんの梢さん、お子さ
んのナホちゃんリカちゃんに囲
まれて、とてもあたたかい、す
てきな毎日を送らせていた
だいていまし
た。

二度とない人生なん
ですから。
と、木村梢さん。あ
りがとう。ほんとにそ
うですね。よろこびは
すなおに、表現しまし
ようよ。いろいろな文句
をいったり、他人を指
さしたり、うわさをし
たりなんてガキみたい
なことはやめにし、さ
どんなことでもよろこ
びにかえてニッコリわ
らって大好き！つて。

「あら、ここには鏡
も絵もない……でも、う
れしいわ。鏡がないか
らソバカスを見なくて
すむし、それに絵はな
いけど、窓の外は絵の
ような景色……うれしい
わ！」
いいですねえ。じつ
は、うちの玲子も、少
女時代にこの「少女パ
レアナ」を読んで大感
動。人生観が変わった
そうです。

私も大学三年
生といよいよ
限界もあろう
しということ
で、ソツと木
村さんの劇団

「ねえ、みなさん、何でも、
よろこべる人間になりましょ
うよ。あのエレナ・ポーターの書
いた「少女パレアナ」のよう
になつらいときでも、よろこ
びを見つけて、それを表現しま
しょうよ。私は「功大好き」と
功に会ってから、そうしていな
くたって、まだいっています。
みなさんも、どうぞ、ご主人に
大好き！つていってください。

「ねえ、みなさん、何でも、
よろこべる人間になりましょ
うよ。あのエレナ・ポーターの書
いた「少女パレアナ」のよう
になつらいときでも、よろこ
びを見つけて、それを表現しま
しょうよ。私は「功大好き」と
功に会ってから、そうしていな
くたって、まだいっています。
みなさんも、どうぞ、ご主人に
大好き！つていってください。

あえてよかつた

—私の生死出ずべき道—

VHS・1時間半

5,500円

このビデオは平成2年3月9日、三重県高田派
本山専修寺の仏婦大会で録画されたばかりのホッ
トなビデオ法話です。

笑いあり涙あり
雪山隆弘さんの
感動のパワフル法話

お申し込みは

三重県津市一身田高田派本山専修寺

宗務所教学部

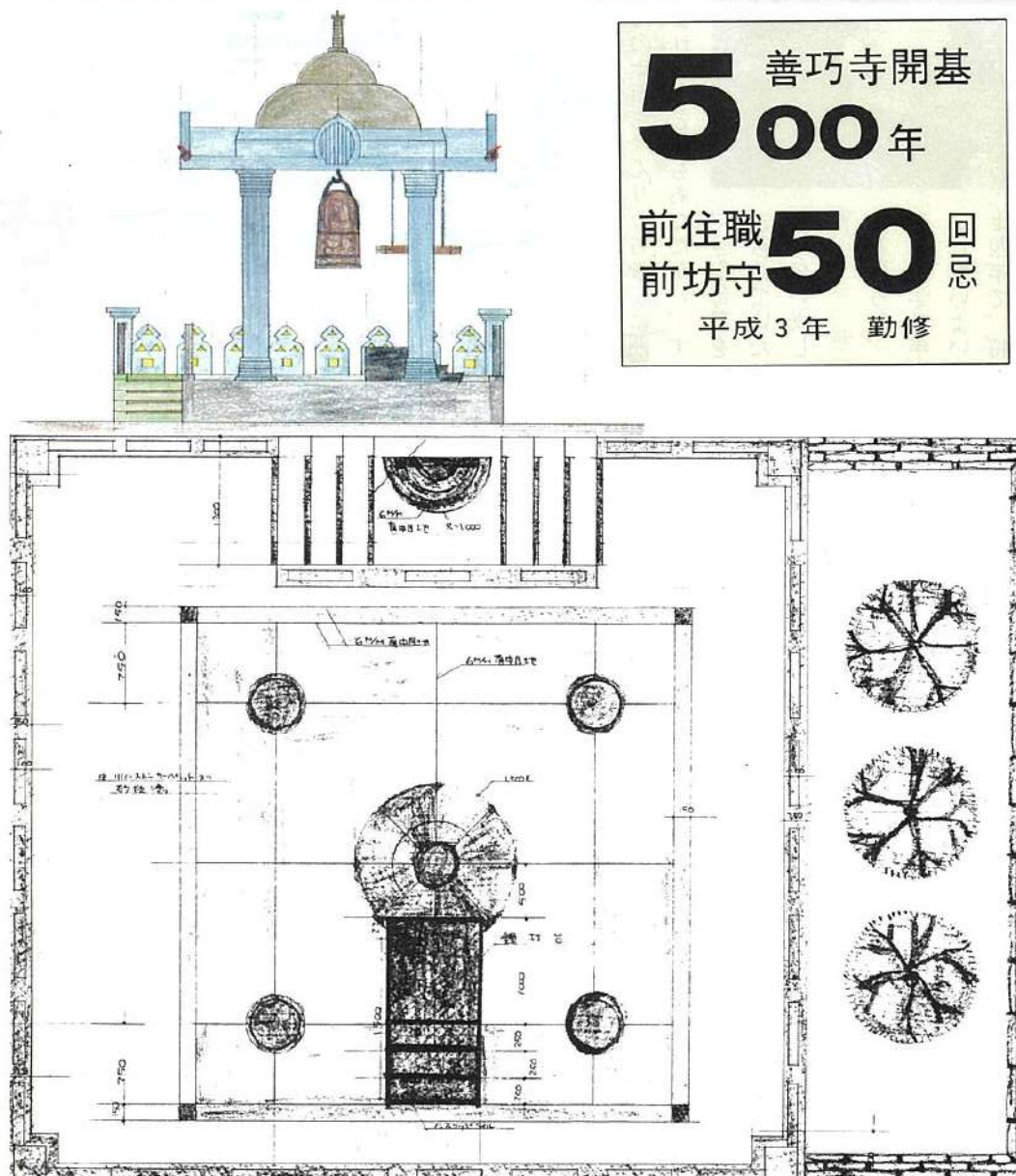
満堂の専修寺で、法嗣殿御裏方もご
列席。そして妻の玲子も一緒に聴聞し
てくれました。ステキなビデオにして
いただいております。

若院。



「慶びの春 花の初まいり」の写真です

鐘楼・
経蔵・
納屋の建て替え



善巧寺開基
500年

前住職 前坊主 **50** 回忌

平成 3 年 勤修

内側の写真は今年着工の運びとなつたお寺の鐘楼です

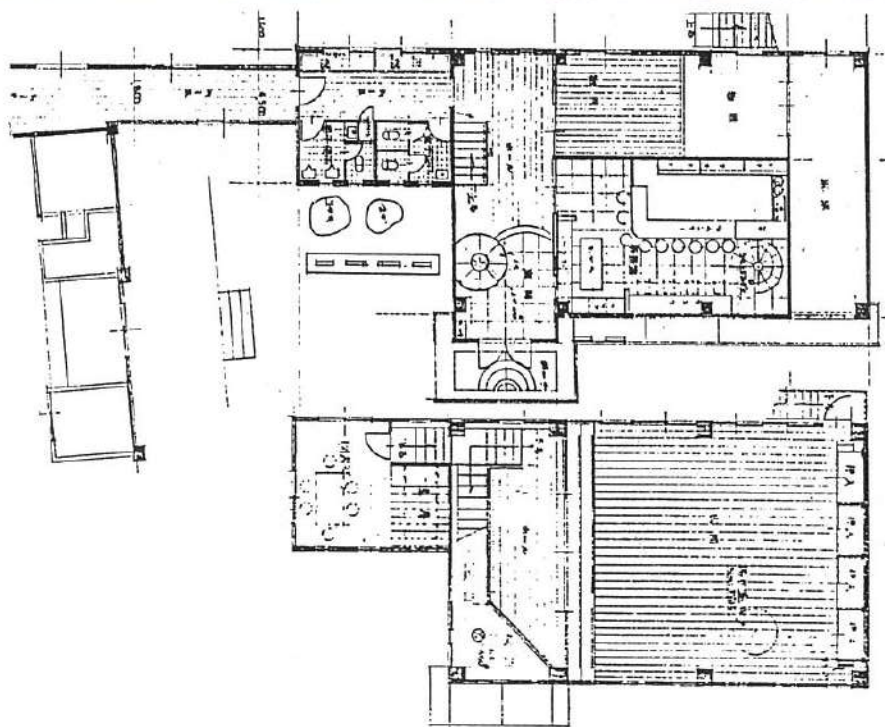
、お父さん、お母さん、そしてあなた、みんなの誕生を祝うおまつりです



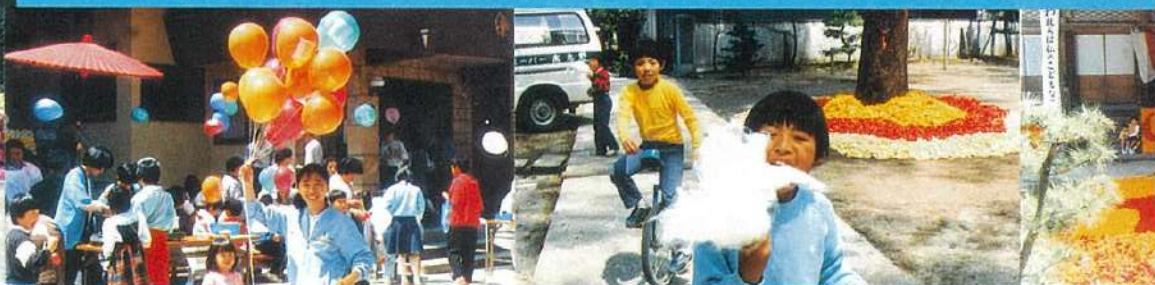


経蔵と納屋の建て替えは、若い人たちにも親しんでいたいただける新しい門徒会館風になっています

まわりの花の写真はお寺で毎年催



おしゃかさまの誕生、しんらんさまの誕生、おじいさん、お



善巧寺開基
 500年
 前住職 50 回忌
 前坊守
 平成3年 勤修

元年度決算

昨年の総代会でギリギリの予算を組みすぎているのではとの意見もあり、見込み収入等をけずって縮小予算にしましたが、結果は、なんとか赤字が出ないでいどにおさまり、まづはひと息。しかし、運営費の法要、教化、寺務については年々物価上昇もあつてかなり苦しい。

二年度予算

広島のあるお寺さん

春の総代会

は、この決・予算を見てわらう
のです。

「雪山さんとこの寺は、とにかく日本一といわれるほど活動しておるのに、財源はおどろくほど少ないんですなあ」

まさにその通り。はつきりい
つて善巧寺はよそからは「大坊
などといわれますが財源にはと
ほしいお寺です。寺の仕事に懸
命の住職の給料は二十五万円。
若院にいたつては、十六万円。
坊守、若坊守が共に七万円合わ

お願いします

せて年間六百六十万円。かなりのきびしさです。

しかし次年度も人件費アップはのぞめず、寺は苦しい状況。

記念事業スタート

さて、今回の総代会はそれよりなにより、来年にお迎えする開基五百年前住職坊守五十回忌の大法要の記念事業についてがハイライト。

若院から寺側の事業計画が發表されましたが、出席された総代方のほとんどが反対、非難、うごうの大荒れでした。

3月20日

ます事業計画からお伝えします。来年に迎える大法要は、門徒の方にとっては自宅で催される「ごねんきさま」と同じようなもので、お寺にとってはいまの住職の代では二度とない勝縁です。「なんとかして、りっぱなご法事をつとめたい。五百年前に門徒の方々が熱い心で建てられたこの善巧寺を未来へ伝えるためにも、できるだけのことはしたい。」これが住職の願いです。もちろん、住職の思いがそのま

募財一口十万円 今秋までに

ますべて実現するわけではありません。山門も寺の山もその他目につく寺の整備もほとんど手をつけず、まず当面、①鐘樓の建て替えと②経蔵・納屋を建て替えて門徒会館に——という二大事業にしました。

幸いにして、本当にありがた
いことに、その鐘楼は、総代の
鬼原勝次さんが「なんとか建て
させていたください」と多
額の寄進を下さいました。そ
れというのも、四年前からこの
事業についての話しが出されて
いるのに、総代会は牛歩のごと

しで、つねに懸案、継続審議という形だったのです。このままでは法要すらもあぶない、と思われた鬼原さんが私財を投げ出して「記念事業の起爆剤に」とご寄進下さったのです。

ふつうなら、ここで、鬼原さん、寺と門徒一同がお札をい、ほめたたえなくてはならないところ。現に、よその寺や門徒の方、それに本山までもが、鬼原さんの行動、そして一言一句に耳を傾け感動していると、ろだというのに、わが総代会では一言もそのことが出ず、「そろ金持ちからは出るだろう」な

今秋までに

どという言葉がポロリ。申し上げておきますが、鬼原さんは昔の第一門徒の鬼原さんではない。ふつうの農家の一門徒さんです。それも、お仏だんのある座敷はなんと天井も抜け、中から空が見えるようなボロボロの家に住んでおられる。それを自分でトタンでかこい、建て替へも、皆さんの五十回忌のご年忌もさしおいて、寺へご寄進下さったのです。

それに一言のあいさつもなく
総代各位は、地元の門徒さんの
つるし上げにおびえてか、全員

が反対。

「また寄付か」

「善巧寺は金がある」

「なんでつりがね直すのか」

経蔵と納屋も放つとけ

「とにかく金は出んぞ」

と、これまで聞いた総代会の
声としては超ド級の声でした。

しかし、もちろん最終的には合意を得ました。

今ここに、ご寄進と門徒の方から準備金としていただいたものと合わせて、特別会計で一千万円の用意があります。

若院も住職もはつきりいつて
先は短かい。その二人がなんと
かして門徒の方々の協力をえて
次の代へと法の灯を伝えてゆこ
うと、建設するのが鐘楼であり
門徒会館なのです。

お願いです。タテマエの反対はやめて、どうか、あなたの先祖が築きあげた、念仏の殿堂、善巧寺にご協力下さい。門徒さんだけではありません。善巧寺を愛する皆さんにお願いします。一口十万円の懇志を、どうかお寺へ送って下さい。届けて下さい。命のかぎりお願いします。二十一世紀を前にさらに輝く善巧寺のために――。

元年度善巧寺一般会計報告

(収 入)		(予算)	(決算)
1. 繰越金	75,300	75,300	75,300
2. 布施収入	8,500,000	8,642,300	8,642,300
門徒法要事	7,200,000	7,256,000	7,256,000
年中賽雑収入	870,000	813,450	813,450
雑収入	350,000	362,350	362,350
会費	80,000	210,500	210,500
3. 特別懸賞費	4,000,000	3,823,000	3,823,000
4. 雑収入	800,000	500,000	500,000
5. 雑収入	24,700	15,200	15,200
合 計	13,400,000	13,055,800	13,055,800
(支 出)		(予算)	(決算)
1. 人件費	6,600,000	6,510,000	6,510,000
2. 運営費	4,500,000	4,423,000	4,423,000
法要費	1,600,000	1,598,620	1,598,620
教化費	900,000	850,100	850,100
事務費	900,000	952,300	952,300
議待費	600,000	594,700	594,700
雑費	250,000	240,600	240,600
維持費	200,000	163,800	163,800
3. 雑費	50,000	22,880	22,880
4. 雑費	2,160,000	2,086,800	2,086,800
5. 雑費	600,000	549,500	549,500
6. 雑費	1,400,000	1,386,990	1,386,990
7. 雑費	160,000	150,310	150,310
8. 雑費	140,000	0	0
合 計	13,400,000	13,019,800	13,019,800

※差し引き +36,000

二年度善巧寺一般会計予算

(収 入)		(予算)
1. 繰越金	36,000	36,000
2. 布施収入	8,700,000	8,700,000
門徒法要事	7,350,000	7,350,000
年中賽雑収入	800,000	800,000
雑収入	350,000	350,000
会費	200,000	200,000
3. 特別懸賞費	3,900,000	3,900,000
4. 雑収入	0	0
5. 雑収入	64,000	64,000
合 計	12,700,000	12,700,000
(支 出)		(予算)
1. 人件費	6,600,000	6,600,000
2. 運営費	4,150,000	4,150,000
法要費	1,200,000	1,200,000
教化費	900,000	900,000
事務費	900,000	900,000
議待費	600,000	600,000
雑費	300,000	300,000
維持費	200,000	200,000
3. 雑費	50,000	50,000
4. 雑費	1,565,000	1,565,000
5. 雑費	550,000	550,000
6. 雑費	850,000	850,000
7. 雑費	165,000	165,000
8. 雑費	385,000	385,000
合 計	12,700,000	12,700,000

三月四日 日曜日 曇のち晴
三月の声を聞くとは何となく気
ぜわしい。殊に今年には田圃に雪
も無く、やがて始まる農作業の
準備の方に心が向き勝ちになる。
忙しくならぬうちにと云う訳か、
此の月は法要が多い。現に今日
も日曜りと云うこともあって二
つも法要がある。手帖には、上
法事、音沢。自宅法事、下村。
と書かれている。私が勝手につ
けた名前だが、上ヶ法事と云う
のは、善巧寺の本堂に一同集つ
て本堂で読経をつとめる場合で
あり、自宅法事と云うのは、善
巧寺から「ほとけさま」をお迎え
して自宅の座敷にお掛けし、仏
前を荘厳しておつとめをするの
を云っている。何れを採るかは、
夫々、ケース・バイ・ケース。

皆様の家庭の事情によればいい。
八時。法輪寺・照行寺の奥さ
ん方、お手伝いに見える。今日
の法要の裏方の仕事。お仏供米
をたき、精進料理の二・三品を
作り、お茶の接待、
食事のお給仕と毎度
のことながら御世話
なことである。早速
おみおつけに入れる
豆腐を刻むコトコト
と云う包丁の音が聞
えて来る。高脚の黒
塗りの御膳で、寺の
広間で皆さんで並ん
でお齋にあづかるこ
とは、近頃の西洋式の食事に慣
れた若い世代には珍らしい御縁
と云えるかも知れない。
十時。下村より仏様迎えの寺



住職日記

詣り。男四人。女一人。男連中
も皆、キチンとした黒の背広姿
で礼儀正しい。本堂で燭文。一
時定刻に御伺いすることにする。
五人が広間でお齋の膳について
いる頃、音沢の上
ヶ法事の連中が到
着する。合計八人。
御主人の三回忌に
ゆかりの方々が集
って来ている。聞
いて見ると、未亡
人は現在、富山医
科薬科病院に入院
中。病院から直行
したとか。息子た
ちは、飛騨高山から、富山から
と、夫々仕事を持つ身体が日曜
を利用して今日の法要に参加。
音沢の土地柄か、話していても

人間の純朴さが言葉の端々に見
られる。本堂で、観無量寿経を
上げる。
一時から午後の部。下村は、
八畳間四つ通しの座敷の古くか
らの趣きある日本様式の中で、
表白、観経、和讃の読経のあと、
故人を偲んでの説教一席。故人
の一周忌、その母の十三回忌で
ある。一町歩の田圃を持ち、地
方鉄道の変電所勤務と云う地味
な仕事、三十代の頃から持病の
心臓病をだましだまし六十五才
迄の人生。私は此の故人の人格
を何時も好ましく思っていた。
少々の酒に酔って帰宅。ゴロ寝
を決めこむ。
啓蟄の日迄の三寒四温哉
春寒や本堂迄の長廊下

寺 こよみ		五月	
一日	お講・音沢		
一六日	お講・音沢		
二一日	お寺座・人形劇 東京 の人形劇団「ひとみ座」 の「曾根崎心中」		
	会費二千円。子供は半額。		

寺 こよみ		六月	
一日	お講・東狐・上野		
一六日	お講・音沢		
二七日	お寺座・野休み落語会		
	会費二千円。		

雪ん子劇団 かつさい

春の公演で新作発表

26日は富山本願寺でも

3.25

ことばの教室「雪ん子劇団」の春の定期公演「座」で行われ、ご町内、県内外のファンのかつさいを浴びました。



今回の演目は、十一年連続上演のロングランミュージカル「うちのとうちゃんえらいんだ」で開幕。つづいては、新作、谷川俊太郎先生の「えをかく」という詩の立体化大谷美術学園にご協力いただいた、七十枚の児童画を描いてもらい、それに合わせて言葉と音楽で

つづる、まったく新しい試み。そしてフィナーレは今年の卒業生が大活躍の「桃次郎の冒険」アットホームなぬくもりが伝わってくる素晴らしい公演でした。なお、翌日の二十六日は、富山本願寺での「仏教ことも大会」に出演。数百人の観客の前で熱演しました。

白鵠会

2月10日 総会

お寺の仏婦「白鵠会」の総会が二月十日に開かれ、平成元年度の決算と、新役員についてや二年度の活動について話し合われました。

役員については、会長は坊守副会長は菊地れいさんとこれまでのまま。書記会計がこれまで大藪富美子さん一人だったので、今度の総会で、書記に大藪さん、会計に本波ときえさんが選ばれました。よろしく。で、そのあとは、恒例の新年会。にぎやかに、なごやかに：でありました。

太子会

3.13

三月十三日、聖徳太子のご法事「太子会」がとめられ、建築関係の方や総代さんが参集しました。

おつとめのあとの会議で、寺の今回の記念事業（くわしくは四頁）の鐘楼、経蔵、納屋の建て替えについて話し合われました。その中で、当初の案として経蔵と納屋を合わせて「門徒会館」という基本線については問題はないが、工法についてはコンクリートの打ち放しは費用もかかるので、他の工法を考えては：という貴重な意見をいただきました。

お願いします

四一六ページに掲載しました大法要の記念事業について、門徒の皆さまには、多大のご苦勞ご負担のことと存じますが、何とぞ意のあるところをお汲みとりいただいて、ご理解、ご協力をよろしく願います。

合掌

◇三月九日、三重県津市の高田派本山専修寺の坊主仏師研修会（三頁に広告）の講師紹介の折なんと、あちらのご重役が寺報「善巧」を手に「ご講師のお寺の総代さんに鬼原さんという方がおられて」と昨年十月号、「寺は眠ってはいけません。眠らせておく門徒もいけない」を読みあげられ「すばらしい寺にはすばらしい門徒さんがおられるものだ」と。私泣きました。◇三月十三日、雪ん子の五期生のN君高校を卒業。その通信簿に「君のそのあたにかいぬくもりはきつと雪ん子で培われたのでしよう」と。また泣きました。◇二月、二年ぶりに再入院。おうき通り、あまり良しとはいえませんが、そろそろ「まとも」に入ろうと思っています。申し分けありませんが「元気？」とか「大丈夫？」とか「病状は？」とはいわないように願います。朝会つたら「お早よう」昼なら「こんにちわ」と声をかけてください。



お寺座五月は人形劇(5/21)
六月は野休み落語会(6/27)

■お寺は文化の発信地。春めいて、今年も「お寺座」にぎやかに開幕です。五月二十一日は、東京でも有名な人形劇団「ひとみ座」の「曾根崎心中」。これはすごい！入場料二千円。
■六月二十七日は恒例の「野休み落語会」。永六輔さん、入船亭扇橋師匠、柳家小三治師匠、それにご当地二度目のピーコさんらでにぎやかに。

